



平成18年11月17日

各 位

会 社 名 日本工業検査株式会社
代表者名 代表取締役社長 林 弘
(JASDAQ・コード 9784)
問合せ先
役職・氏名 取締役管理本部長 菅野 毅
電 話 044-366-6000

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年5月26日に公表いたしました平成19年3月中間期（平成18年4月1日～平成18年9月30日）及び通期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の連結及び個別の業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成19年3月期 連結業績予想の修正

(1) 中間期（平成18年4月1日～平成18年9月30日） (単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A）	3,990	301	139
今回修正予想（B）	4,215	358	182
増減額（B－A）	225	57	43
増減率	5.6	18.9	30.9
前期（平成17年9月期）実績	4,198	451	354

(2) 通期（平成18年4月1日～平成19年3月31日） (単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	7,585	559	228
今回修正予想（B）	7,800	559	228
増減額（B－A）	215	0	0
増減率	2.8	—	—
前期（平成18年3月期）実績	7,828	557	407

2. 平成19年3月期 個別業績予想の修正

(1) 中間期(平成18年4月1日～平成18年9月30日) (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	3,820	254	128
今回修正予想(B)	4,065	325	195
増減額(B-A)	245	71	67
増減率	6.4	28.0	52.3
前期(平成17年9月期)実績	3,755	439	388

(2) 通期(平成18年4月1日～平成19年3月31日) (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	7,225	460	205
今回修正予想(B)	7,500	460	240
増減額(B-A)	275	0	35
増減率	3.8	—	17.1
前期(平成18年3月期)実績	6,869	467	414

3. 修正の理由

(1) 連結業績

当中間期につきましては、売上高は、検査部門・焼鈍部門が堅調に推移し前回売上予想を上回る見込みであります。

検査部門は、大分・仙台・四日市地区の大規模定期点検を施工、エネルギーの転換によるLNG導入のサテライト基地の建設に伴う各種検査を施工、ガス・パイプラインの新設に伴う検査も堅調に推移いたしました。

計測部門は、高速道路・一般道路の鋼製橋脚の補修・補強に関連した計測は堅調に推移いたしました。一方、大手建設会社の技術研究所による振動実験が延期になったことに加え、JR関係の計測等の受注は低調でありました。

焼鈍部門は、原子力・火力発電所の定期点検および石油・石油化学の保全に伴う熱処理工事が堅調に推移いたしました。

利益面につきましては、売上高が前回予想を上回ったことにより、経常利益・中間純利益ともに予想を上回る見込みであります。

通期予想につきましては、下半期の売上高は、季節変動要因により上半期に比べて減収の予想をしておりますが前回通期予想は上回る見込みであります。利益面につきましては、価格競争の激化が見込まれるため前回予想を変更しておりません。

(2) 個別業績

個別業績修正の理由は、連結業績修正の理由に記載のとおりであります。当期純利益につきましては、中間期の利益を踏まえ前回予想を修正いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上